

申請書記載留意事項（県庁申請用・家計急変用）

記入例を参照して、申請書の㉠から㉡まで順に漏れ無く記入願います。裏面（2ページ目）も記載したいいただくよう願います。

《表面》

- ㉠ 実際に申請書を記入した月日を記入してください。
- ㉡ 6つのチェック欄□全てに✓を入れてください。一つでもチェック漏れがある場合は、支給不可となります。
- ㉢ 申請者氏名
親権者等申請者のお名前を記入願います。親権者が2名の場合、どちらでも結構です。
なお、親権者等がおられる場合、生徒本人は申請者となれませんので、ご注意ください。
- ㉣ 対象となる高校生等について
ふりがなも記入漏れ無いよう願います。
- ㉤ 学校の名称について、通信制の学校の場合、実際に通われている学校ではなく、本校の名称を記入願います。
- ㉥ 支給基礎額の該当欄に○を記入願います。なお、県記入欄は記載しないでください。
- ㉦ 振り込み希望口座について、必ず申請者名義のものをご記入ください。
生徒本人や、申請者の配偶者等の口座へは振り込めません。

《裏面》

⑨ 家計急変の発生日および失業・倒産等具体的な家計急変事由が発生をご記入ください。

⑩ 保護者等の収入状況について
該当欄□に✓を入れ、必要書類を提出願います。

⑪ その他の添付書類について
対象生徒以外に奨学給付金を申請する兄弟姉妹がいる場合は、□に✓を入れていただき、兄弟姉妹の奨学給付金申請書の写しを提出願います。

⑫ 内容を確認していただいたうえで、□に✓を入れてください。

⑬ 扶養親族の状況について、
保護者が扶養されている全ての世帯全員について、記入願います。

様式第1号（おもて面）

県庁申請用（家計急変）

※太枠内はすべて記入してください（両面とも）

※必ず記入

兵庫県知事 様

(A) 申請日 令和 年 月 日

令和5年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金支給申請書（兼受給資格認定申請書）

(B) 次の6点を確認のうえ、すべての□にレ点を付けてください（いずれかにレ点が無い場合は、支給できません）。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
 - この申請書に虚偽の記載があった場合は、兵庫県の求めに従いその全額を即時返還します。
 - 私は兵庫県以外の都道府県に高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）の申請は行っておりません。
 - この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生を除く））の支給対象ではありません。
 - 申請後、世帯の家計状況に変更があった場合は、直ちに県に申し出ます。
 - 生徒は基準日※現在、高等学校等に在籍しており、申請後休学や退学した場合は、直ちに県に申し出ます。
- ※基準日は、7月1日現在（7月1日以降に家計が急変した場合は、申請日の翌月1日時点（申請日が月の初日である場合は、申請日））となります。

(C) 令和5年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金の支給を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

※必ず記入	申請者住所	〒 - 市・区・町		丁目・番・号（マンション名・団地名）	
	ふりがな	兵庫県			
	申請者氏名	電話番号			
		携帯番号			
	電子メール				
対象生徒との関係 (○で囲む)	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人 ・その他（ ）				

(D) 【対象となる高校生等について】

ふりがな		生徒の 生年月日	(昭和) 平成	年	月	日
生徒氏名						

(E)

生徒の住所	<input type="checkbox"/>	申請者と同じ														
	<input type="checkbox"/>	〒	都道府県	市区町村												
生徒が在学する学校の状況	学校の名称	本校所在都道府県														
	入学年月日	平成・令和	年	月	日	学校の種類・課程・学科 全日制・定時制 通信制・専攻科										
過去の高等学校等の在学状況 (該当の場合のみ)	学校名	立	年	月	日	学校の種類・課程・学科 全日制・定時制 通信制・専攻科										
		年	月	日	~	年	月	日	全日制・定時制 通信制・専攻科	在学中に給付金を受給した回数						
										なし	1回	2回	3回	4回	5回	不明
										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(F) 【申請する支給額】 ※7月以降に家計が急変申請する場合は、申請のあった月の翌月以降（申請日が月の初日である場合は申請のあった月）の月数に応じて算定した額を支給します。

○を記入	支給額	課程	該当する区分	県記入欄
<input type="checkbox"/>	52,100 円	通信制 専攻科	・市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円相当の世帯（保護者等全員の合算） ・対象生徒が通信制高校、高等学校等専攻科に在籍している	
<input type="checkbox"/>	137,600 円	全日制 定時制	・市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円相当の世帯（保護者等全員の合算） ・下記以外の場合	
<input type="checkbox"/>	152,000 円	全日制 定時制	・市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円相当の世帯（保護者等全員の合算）・保護者等に扶養されている、 ①2人目以降の高校生等 又は ②15歳（中学生を除く）以上23歳未満の保護者等に扶養されている兄弟姉妹（高校生等を除く）がいる高校生等	

(G) 【振込希望口座について】（太枠内を記入してください）

※必ず記入	振込希望口座	フリガナ	金融機関名（払渡店）	銀行 金庫	支店	預金種別	1 普通・総合	2 当座	3 その他 ()
		金融機関番号	支店番号	口座番号			フリガナ		
		支店番号					口座名義 (申請者名と同一)		

上記のとおり兵庫県財務会計システムに登録してください。

※申請者名義の口座を記入してください（生徒本人や申請者の配偶者等の口座には振り込めません）

※通帳のコピー（銀行名・支店名・口座番号等が分かるもの）の添付要（昨年度と同一の場合は添付を省略可）

※昨年度の振込み口座のお問い合わせはご遠慮ください（不明の場合は通帳のコピーを添付してください）

H

【家計急変の発生日】※必ず記入

令和 年 月	家計急変分の事由	失業 ・ 倒産 その他 ()	支給額 (県記入欄)
--------	----------	--------------------	---------------

【保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入の状況について】該当する□にレ点を入れ、必要な添付書類を提出してください。

I

世帯状況		必要書類
※必ず記入 須	<input type="checkbox"/> 保護者等の家計急変の発生事由を証明する書類	・ 離職票、解雇通知書、廃業等届出 等
	<input type="checkbox"/> 保護者等の家計急変後の収入を証明する書類	・ 会社作成の給与見込証明、税理士又は公認会計士の作成した証明書、自己申告証明(給与明細コピー添付) 等
	<input type="checkbox"/> 保護者等の扶養親族の人数・年齢を確認するための書類	・ 世帯全員分の健康保険証コピー 等
※いずれか該当する欄の□にレ点を記入 令和5年度課税証明書	① <input type="checkbox"/> 親権者(両親)2名分 ※親権者が2名存在する場合、親権者の一方が控除対象配偶者であっても 必ず2名分の課税証明書等 が必要です。	・ 親権者(両親)2名の令和5年度課税証明書等
	② <input type="checkbox"/> 親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ※ア、イ、ウいずれかの□に✓印を入れてください	・ 親権者1名分の令和5年度課税証明書等
	イ <input type="checkbox"/> 親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等 ※家庭の事情等とは、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合が該当します	・ 主たる生計維持者1名分の令和5年度課税証明書等
	ウ <input type="checkbox"/> (専攻科のみ) ※満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤または⑥のいずれかの□に✓印を付けてください	
	③ <input type="checkbox"/> 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く	・ 未成年後見人(全員分)の令和5年度課税証明書等
④ <input type="checkbox"/> 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合	・ 生徒の生計をその収入により維持している者(両親等)2名分の令和5年度課税証明書等	
⑤ <input type="checkbox"/> ・ 生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・ 入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・ 生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・ 生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合等	・ 主たる生計維持者1名分の令和5年度課税証明書等	
⑥ <input type="checkbox"/> 親権者、未成年後見人または主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等	・ 生徒本人の令和5年度課税証明書等	

J

【その他の添付書類】該当する場合は□にレ点を入れ、必要な添付書類を提出してください。

世帯状況	その他の添付書類
<input type="checkbox"/> 対象生徒以外に奨学給付金を申請する兄弟姉妹がいます。	・ 兄弟姉妹の奨学給付金申請書の写し(両面)

K

【生業扶助未受給の誓約】下記の内容を確認のうえ、□にレ点を入れてください。

<input type="checkbox"/> 私の世帯は、現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助を受けていません。
--

L

【扶養親族等の状況について】保護者等が扶養する世帯全員について、記入してください。

内容を確認のうえ、下記の□にレ点を付けてください。

私は令和5年7月1日(令和5年7月以降に家計が急変した場合は申請日)現在、下の表に記載の者を扶養しています。

対象生徒及び扶養親族の状況	続柄	名前	生年月日(年齢)	職業・学校名・学年等	奨学給付金 申請の有・無	申請額
	本人 (対象生徒)			(歳)		有 ・ 無
			(歳)		有 ・ 無	円
			(歳)		有 ・ 無	円
			(歳)		有 ・ 無	円
			(歳)		有 ・ 無	円

※「続柄」欄は対象となる高校生等を基準として記入し、「年齢」は令和5年7月1日現在(7月以降に家計急変した場合は申請日現在)で記入してください。

<申請前に再度確認し、レ点を入れてください>

- 記入漏れはありませんか?
- 添付書類の漏れはありませんか?

- 住民票(世帯全員分)
- 在学証明書
- 健康保険証(写)貼付の扶養誓約書(生活保護世帯除く)
- 通帳のコピー
- 保護者等の家計急変の発生事由証明
- 保護者等の家計急変後の収入証明
- 保護者等の令和5年度課税証明書
- 兄弟姉妹の奨学給付金支給申請書のコピー(該当する場合のみ)

様式第1号 (おもて面)

県庁申請用(家計急変)

※太枠内はすべて記入してください(必ず記載してください。)

※必ず記入

兵庫県知事 様

(A)

申請日 令和5年 7月 10日

令和5年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金支給申請書(兼受給資格認定申請書)

(B) 次の6点を確認のうえ、すべての口にレ点を付けてください(いずれかにレ点が無い場合は、支給できません)。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
内容を確認の上、口にレ点を付けてください(6点ともにレ点が入っていないと、支給できません)。
兵庫県の求めに従いその全額を即時返還します。
私給付金(奨学のための給付金)の申請は行っていません。
この給付金による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生を除く))の支給対象ではありません。
申請後、世帯の家計状況に変更があった場合は、直ちに県に申し出ます。
生徒は基準日※現在、高等学校等に在籍しており、申請後休学や退学した場合は、直ちに県に申し出ます。
※基準日は、7月1日現在(7月1日以降に家計が急変した場合は、申請日の翌月1日時点(申請日が月の初日である場合は、申請日))となります。

(C) 令和5年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金の支給を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

申請者住所: 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10-1
ふりがな: ひょうご たろう
申請者氏名: 兵庫 太郎
電話番号: 078-341-771
携帯番号: 090-xxxx-xxxx
電子メール: abcde@xxxx.xx
対象生徒との関係: 親権者

(D) 【対象となる高校生等について】

ふりがな: ひょうご じろう
生徒氏名: 兵庫 次郎
生徒の生年月日: (昭和) 18年 7月 1日
平成

生徒の住所: 申請者と同じ
生徒と保護者の住所が異なる場合、記入してください。異なる場合は、生徒の住民票又は在寮証明書が必要です。
通信制の場合、サテライト教室の所在地ではなく、本校所在地を記入してください。
生徒が在籍する高等学校等: ○○高等学校
生徒が在籍する学校等の状況: 入学年月日: 平成・令和 5年 4月 1日
在学中に給付金を受給した回数: 1回

過去の高等学校等の在学状況(該当の場合のみ): 私立 △△高等学校
在学中に給付金を受給した回数: 1回

(E) 該当する支給額 ※7月以降に家計が急変した月(申請日が月の初日である場合は申請のあった月)の月数に応じて算定した額を支給します。

Table with columns: 入, 支給額, 課程, 該当する区分, 県記入欄. Includes rows for 52,100, 137,600, and 152,000.

希望口座にフリガナ: モトマチ モトマチ
金融機関名(払渡店): 元町 銀行 元町 支店
預金種別: 普通・総合

金融機関番号: 0000
支店番号: 000
口座番号: 1234567
フリガナ: ひょうご たろう
口座名義(申請者名と同一): 兵庫 太郎

上記のとおり兵庫県財務会計システムに登録してください。
※申請者名義の口座を記入してください(生徒本人や申請者の配偶者等の口座には振り込めません)
※通帳のコピー(銀行名・支店名・口座番号等が分かるもの)の添付要(昨年度と同一の場合は添付を省略可)
※昨年度の振込み口座のお問い合わせはご遠慮ください(不明の場合は通帳のコピーを添付してください)

※必ず記入

※必ず記入

※必ず記入

H 【家計急変の発生日】※必ず **失業・倒産等が生じた時期を記載の上、事由に○をつけてください。**

発 生 日	令和 5年 3月	家計急変分の原因	失業・倒産 ○その他(病気のため休職)	支給額 (県記入欄)
-------	----------	----------	-------------------------------	---------------

I 【保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入の状況について】該当する□にレ点を入れ、必要な添付書類を提出してください。

世帯状況		必要書類
※必ず記入 必 須	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等の家計急変の発生事由を証明する書類	・離職票、解雇通知書、廃業等届出 等
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等の家計急変後の収入を証明する書類	・会社作成の給与見込証明、税理士又は公認会計士の作成した証明書、自己申告証明(給与明細コピー添付) 等
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等の扶養親族の人数・年齢を確認するための書類	・世帯全員分の健康保険証コピー 等
※いずれか該当する欄の□にレ点を記入 令和5年度課税証明書	① <input type="checkbox"/> 親権者(両親)2名分 ※親権者が2名存在する場合、親権者の一方が控除対象配偶者であっても必ず2名分の課税証明書等が必要です。	・親権者(両親)2名の令和5年度課税証明書等
	<input type="checkbox"/> 親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ※ア、イ、ウいずれかの□に✓印を入れてください	・親権者1名分の令和5年度課税証明書等
	ア <input checked="" type="checkbox"/> 離婚、死別等により親権者が1名の場合	
	イ <input type="checkbox"/> 親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等 ※家庭の事情等とは、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合は該当します	
	ウ <input type="checkbox"/> 親権者が存在せず、未成年後見人が存在している場合 ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く	・未成年後見人(全員分)の令和4年度課税証明書等
	④ <input type="checkbox"/> 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合	・生徒の生計をその収入により維持している者(両親等)2名分の令和5年度課税証明書等
⑤ <input type="checkbox"/> ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等	・主たる生計維持者1名分の令和5年度課税証明書等	
⑥ <input type="checkbox"/> 親権者、未成年後見人または主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等	・生徒本人の令和5年度課税証明書等	

親権者1名分の提出しかできない場合(DV等の事情により接触が困難な場合に限る)は、こちらをチェックしてください。
離婚協議中などで別居中であっても連絡が可能な場合は原則として該当しません。

J 【その他の添付書類】該当する場合は□にレ点を入れ、必要な添付書類を提出してください。

世帯状況	その他の添付書類
<input checked="" type="checkbox"/> 対象生徒以外に奨学給付金を申請する兄弟姉妹がいます。 該当する場合は、こちらにチェックをしてください。	・兄弟姉妹の奨学給付金申請書の写し(両面)

K 【生業扶助未受給の誓約】下記の内容を確認のうえ、□にレ点を入れてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 私の世帯は、現在「生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助を受けていません。 確認の上、必ずチェックをしてください。

L 【扶養親族等の状況について】保護者等が扶養する世帯全員について、記入してください。

内容を確認のうえ、下記の□にレ点を付けてください。						高校生の兄弟姉妹で、奨学給付金を申請している場合は、「有」に○を入れ、申請額を記入してください。	
<input checked="" type="checkbox"/> 私は令和5年7月1日(令和5年7月以降に家計が急変した場合は申請日)現在、下の表に記						学給付金 申請の有・無	申請額
※必ず記入 対象生徒及び扶養親族の状況	続柄	名 前	生年月日(年齢)	職業・学校名・学年等			
	本人(対象生徒)	兵庫 次郎					
	母	兵庫 花子	S57.6.1 (42歳)	パート勤務	有・ ○無		円
	姉	兵庫 月子	H17.8.10 (17歳)	□□高等学校	○有 ・無	137,600	円
	弟	兵庫 三郎	H24.4.10 (11歳)	〇〇小学校	有・ ○無		円
祖母	兵庫 風子	S32.5.1 (66歳)	無職	有・ ○無		円	
					有・無	円	

※「続柄」欄は対象となるで記入してください。

申請者及び申請者以外の保護者等が扶養する親族を記入のうえ、全員分の健康保険証コピー(記号・番号は黒塗り)は、扶養誓約書に貼付して提出してください。

令和5年7月1日現在(7月以降に家計急変した場合は申請日現在)

<申請前に再度確認し、レ点を入れてください>

- 記入漏れはありませんか?
- 添付書類の漏れはありませんか?

- 住民票(世帯全員分)
- 在学証明書
- 健康保険証(写)貼付の扶養誓約書(生活保護世帯除く)
- 通帳のコピー
- 保護者等の家計急変の発生事由証明
- 保護者等の家計急変後の収入証明
- 保護者等の令和5年度課税証明書
- 兄弟姉妹の奨学給付金支給申請書のコピー(該当する場合のみ)

在学証明書

下記の者は、令和 年 月 日（基準日）現在※、当校の生徒であり、休学中でないことを証明します。

氏 名	(ふりがな)			
	姓		名	
生年月日	平成 年 月 日			
学 年			課 程 (該当するものに○)	全日制 定時制 通信制 専攻科
入学年月日	平成・令和 年 月 日	基準日※現在、 高等学校等就学支援金 もしくは学び直し支援金 の受給権の有無		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

令和 年 月 日

所在地

学校名

学校長

印

(注) 既存の在学証明書の様式でも上記内容を満たしている場合は可。

※ 「令和 年 月 日現在」の欄については、7月以降に家計が急変し、申請する場合は、申請日現在を記入してください。

それ以外の者は、令和5年7月1日現在と記入してください。

令和5年 月 日

扶養誓約書

私が主として下記の者を扶養していることを誓約します。

扶養者住所	
ふりがな	
扶養者氏名	

ふりがな	
被扶養者氏名	
ふりがな	
被扶養者氏名	
ふりがな	
被扶養者氏名	

※裏面に、被扶養者の健康保健証(写)をのり付けしてください。

※対象生徒及び対象生徒以外の高校生及び15歳以上(中学生を除く)の23歳未満の兄弟姉妹の被扶養者を記載してください。

個人対象要件証明書（専攻科のみ）

下記の者は、令和 年 月 日現在、以下のとおりであることを証明します。

氏 名	(ふりがな)			
	姓		名	
学校名 課程・学科等名			学 年	

(該当する方に✓をすること)

- 以下のア～ウのいずれかに該当します。(ア～ウのうち該当するものに○を付すこと)
- 以下のア～ウのいずれにも該当しません。

ア 退学、停学（三か月以上）の処分を受けた者

イ 前年度における習得単位数が当校の定める当該年度の標準習得単位数の5割以下の者

ウ 前年度における出席率が5割以下の者

※ア～ウのいずれかに該当する者で、災害、疾病その他のやむを得ない事由がある場合は、以下に具体的な状況を記載すること。

令和 年 月 日

〇〇高等学校専攻科
学校長

印

※ 「令和 年 月 日」現在の欄については、7月以降に家計が急変し、申請する場合は、申請日現在を記入してください。
それ以外の者は、令和5年7月1日現在と記入してください。